

平成 29 年度 ふるさと館事業計画

1. ふるさと学習の推進

1) 学校学習单元にあわせ、館内の資料による体験等による学習支援。

(体験メニュー：石臼、洗濯板、はたおり、火起こし、勾玉作り など)

○市内・市外の小・中・高校による見学・体験の受け入れ、総合学習など学習、研究の支援

○民宿等（セカンドスクールなど）による見学・体験の受け入れ

○出張講座 市内小学校クラブ活動への出張、関連授業への出張講座（昔の道具、考古など）

2) 伝統文化の保存・活用 ○地域の年間行事や伝統文化を学ぶため体験教室を開催。

6 月「笹もち作り」 12 月「しめ縄作り」 1 月「まゆ玉作り」 2 月「やしょうま作り」

2. 企画・イベントの開催

1) 企画展

①企画展「シリーズ いいやま風土記 4 『飯山の街道をゆく』」（4 月 22 日～6 月 25 日）

市内各地区の歴史を紹介するシリーズ。飯山につながるさまざまな街道の歴史を、絵図や古文書、写真などで振り返る。

*現地学習会①（地区館と共催）「富倉峠ウォーク」5/7 参加 55 名

*現地学習会②（地区館役員対象）「富倉街道」6/25

②企画展「ふるさとの衣を紡ぐ」（7 月 7 日～10 月 9 日）

かつて飯山の衣生活の中心であった野良着や日常着を紹介し、当地方における布の歴史や衣生活を振り返りたい。

*体験学習「古布を使った作品作り」

③企画展「栗岩英治展」（10 月 20 日～12 月 24 日）

全国を駆けまわり資料を採集し、長野県の歴史学の礎を築いた、飯山出身の栗岩英治の業績を諸資料から紹介する。

*関連講演会（予定）

④企画展「城下町ひな街道 ひな人形展」（2 月 10 日～3 月 25 日）

商店街と連携し、城下町飯山のひな人形展の開催

3) 学びのエリア「秋まつり」の開催

市の社会教育・生涯学習の拠点である学びのエリアのなかで、ふるさと館の資料や友の会・市民学芸員などの特技を活かしテーマを設けたイベントを行うことで、より多くの来館者に地域の歴史や文化を紹介する。

3. 情報発信 企画展や学習会、体験教室などの情報を随時 HP・市報等に掲載し、新鮮な話題・情報を提供する。

4. ふるさと館友の会関係

・友の会先進地視察（年 2 回） ・会誌「奥信濃文化」の発刊（年 2 回） ・友の会各部会

・友の会総会 ・友の会だよりの発行

5. その他 1) 寄贈資料の受け入れ、整理、保管

2) 中学校・高校・教職員研修等の職場体験実習の受け入れ など

3) 他館と連携した地域学習への取り組み

公民館と共催の学習会や観光課と連携した地域の歴史文化の紹介など。